



情報センターから恐路島を望む

利用案内

- **開館時間**
9:00～17:00(入館は16:30まで)
- **休館日**
月曜日(祝日、休日の場合は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
その他臨時休館日
- **入館料**
無料
※団体での来館は事前にお申し込み下さい。

施設の概要

- **1階** バーズビュースペース(空から見た水俣)
小展示室、事務室
- **2階** 展示室、講堂、書籍、資料等検索コーナー
- **3階** 第一資料室(閲覧コーナー)、第二資料室、研究室、資料整備室
- **屋上** 展望案内板、太陽電池パネル
環境への負荷を抑制するため太陽光発電、エコボイド、水蓄熱冷暖房、雨水利用等の設備を取り入れています。



水俣病情報センター



水俣病情報センター

交通案内

- **車利用**
熊本、鹿児島、宮崎から約2時間、人吉から約1時間20分
- **九州新幹線利用**
新水俣まで博多から約1時間、熊本から約25分、鹿児島中央から約30分
※新水俣駅からは車で約15分。
- **肥薩おれんじ鉄道利用**
水俣まで八代から約1時間、川内から約1時間40分
※水俣駅からは車で約5分。
※新水俣駅、水俣駅から水俣産交行バス乗車「水俣病資料館下」下車徒歩1分

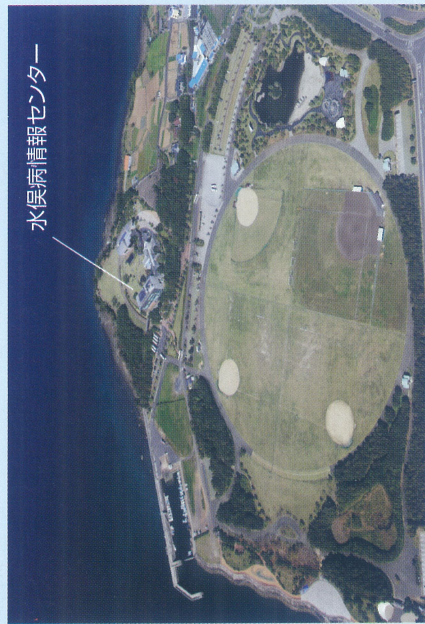


環境省国立水俣病総合研究センター 水俣病情報センター



F867-0055 熊本県水俣市明神町55-10
TEL 0966-69-2400 FAX 0966-62-8010
<http://www.nimd.go.jp/archives/>

水俣病情報センターは、国立水俣病総合研究センターの附属施設として平成13年に設置されました。水俣病情報センターは、(1)水俣病に関する資料、情報を収集、保管、整理し、広く提供するとともに水俣病に関する研究を実施する。(2)展示や情報ネットワークを通じて研究者や市民に広く情報を提供する。(3)水俣病や水銀研究に関する学術交流等を行うための会議を開催する等の機能を備えた施設です。これらの活動を通じて、水俣病についての一層の理解の促進、水俣病の教訓の伝達、水俣病及び水銀に関する研究の発展に貢献する事を目指しています。



水俣病情報センター

水俣病情報センターとエコパーク方面を望む

展示資料の概要

- A 水俣病のあらまし**
水俣病発症のメカニズムなどについて紹介
- B 水俣病の原因究明**
原因究明に至るまでの様々な研究などの紹介
- C 水銀の研究**
水俣病の原因物質である水銀について紹介
- D 世界の水銀汚染問題**
世界各地の水銀汚染問題(国立水俣病総合研究センターの取り組み)を紹介
- E 質問コーナー**
パーソナルコンピュータを使って水俣病や水銀に関する疑問を解くQ&Aコーナー
- F 水銀メッセージ**
水銀に関する水俣条約や国立水俣病総合研究センターの概要、研究内容を紹介

館内案内

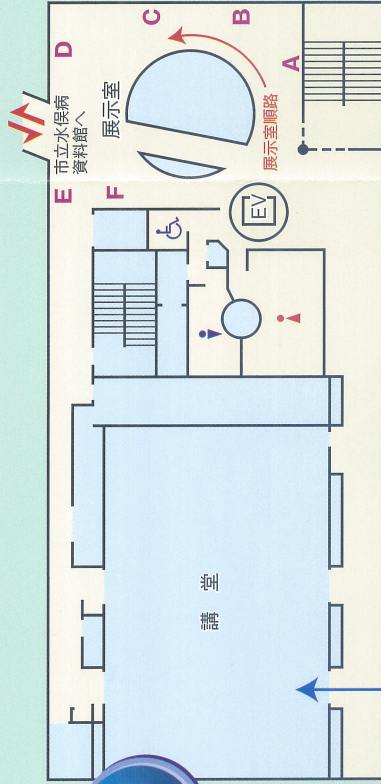
3F



資料室

水俣病に関する資料や書籍等を収集・保管し、一般の利用に供しています。

2F



講堂

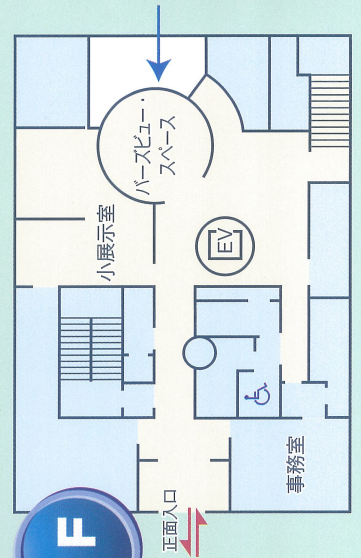
水俣病に関する行事・会議などに使用し、最大240名程度収容出来る施設です。

主な利用

1. 国立水俣病総合研究センター主催の公開研究発表会(NIMDFォーラム)、介助技術講習会およびリハビリテーション技術講習会
2. 水俣市立水俣病資料館主催の語り部講話
3. 水俣病に関する会議等

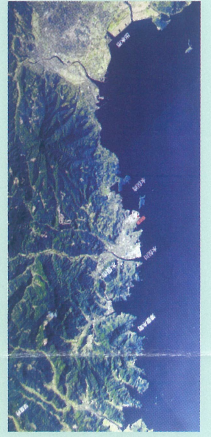


1F



パースビュー・スペース

衛星写真で空から見た水俣の地形を学び、壁面のスクリーンでは、空、地上、海中からの映像で水俣の自然、四季の風物詩、息づく風土をご覧ください。



展示室の一風景



水銀に浮かぶ鉄(ボルト)

水俣病に加え、自然界にある水銀の種類・性質や水銀の動き(循環)など、水銀について学べます。世界各地の水銀汚染問題も分りやすく紹介しています。また、水俣湾の海水および大気中水銀濃度測定の結果を随時更新しています。

その他、国立水俣病総合研究センターの研究成果や国際協力活動についても、一部紹介しています。

国外からの来館者に対応するため、多言語表記(英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語)も行っています。

